

単元名 「なかよしいっぱいだいさくせん ～つうがくろでみつけた～」

第1学年 内容 (1) 「学校と生活」
(4) 「公共物や公共施設の利用」

◆本実践の概要

- ・身近な「通学路」について探検やインタビューを行うことで、調べ方やまとめ方を自分なりに工夫して伝えることができるようにする。
- ・課題に対して意見を出し合い交流することで、異なる考えを共有し学習を深め、学ぶ意味や自己の変容を感じとることを期待している。

1 単元の目標

学校や通学路の探検を通して、学校の施設や学校生活を支えている人々などとの関わりについて考え、これらの施設や人々のことが分かるとともに、生活上必要な習慣や技能を身につけ、楽しく安心して遊んだり生活したり、安全な登下校をしたりすることができるようにする。

2 単元の評価規準

単元の 評価規準	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	学校や通学路の探検を通して、学校での生活が様々な人や施設と関わっていることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身につけている。		学校や通学路の探検を通して、学校の施設や学校生活を支えている人々や友達、通学路や安全を守っている人々との関わりについて考えている。	学校や通学路の探検を通して、楽しく安心して遊んだり生活したり、安全な登下校をしたりしようとしている。
小 単 元 に お け る 評 価 規 準	1		①学校の中の人や物について、知っていることや知りたいことを表現したり、伝え合ったりしている。	①学校の中の人や物について、自ら進んで関心を持ち、関わろうとしている。
	2	①楽しく探検をするためには、安全を意識したり、出会った人に挨拶や適切な言葉遣いをしたりする必要があることに気付いている。	②学校探検で見たり聞いたりしたことについて振り返りながら表現している。	②春の校庭の様子や動植物について、自ら進んで関心を持ち、探したり関わったりしようとしている。
	3	②学校には、いろいろな施設があることや、自分たちの生活を支えている人々がいることに気付いている。	③自分の知りたいことや興味のあることについて、見たり人に聞いたりして調べるとともに、分かったことを学級で共有できるように絵や言葉で表現している。	
	4	③通学路には、安全を守っている人々がいることや、安全に登校することができる工夫があることに気付いている。	④毎日の登下校について振り返り、通学路の安全を守っている人々について考えている。	
	5		⑤これまでの活動について振り返り、したことやもっとやってみたいことなどを表現したり、伝え合ったりしている。	③学校生活について、自ら進んで関心を持ち、これからも積極的に学校の人や場所、物と関わっていこうとしている。

3 単元について

本単元では、学校や通学路の探検などを通して、人や物と繰り返し関わることや、発見したこと分かったことを表現して伝え合うことで、自分達の生活や安全を守っている人々や施設があることに気付くことができると考えられる。

生活科では、活動や体験を重視し、そこから児童が「疑問に思ったこと」や「こんなことをしてみたい」という「思いや願い」を大切に授業を仕組んできた。1学期に実践した学校探検では、「学校にいる先生はどんな仕事をしているのか。どのような先生なのか。」について調べたいと意見が出た。そこでインタビューをもとに調べたことを各自バイシンククラスルームのノートにまとめた。まとめたことを共有することにより、学校生活にはたくさんの先生が関わっていることを学ぶことができた。今回、いつも登下校に使われている通学路で気付いたことをもとに考え、安全に登下校をするための工夫について理解することができるようにしたい。

指導にあたっては、学校探検や通学路探検を通して、学校や通学路にあるものを見つけることや関わっている人、友達の意見を「聞く」活動を多く取り入れる。繰り返し対象と関わり、意見を伝え合い、聞き合うことで、「通学路には安全に登校できるためにどんなものがあるのか」という課題について地区探検などを通して自分で気付いたことだけでなく友達の気付きにも目を向けることができ、考えを深めることができると考える。また、ICTを活用し、写真撮影やインタビューを動画でまとめるなど相手に分かりやすく伝えるための方法を各自で選び発表することにより、学習内容を深めていきたい。

4 指導と評価の計画

小単元名 (全17時間)	学習活動	評価 規準	評価方法・備考
1がっこうには どんなものがあるかな、どんなひとがいるか(1)	・学校生活で気になった人や物について話す。	態① 思①	・行動観察・発言分析
2なかよしさがしにしゅっぱつだ(3)	・2年生と学校探検をする。 ・わかったことや思ったことを伝え合う。	知① 思② 態②	・ワークシートの分析 ・ふりかえりの記述の分析
3もっとしりたいな(6)	・どんな先生がいるのか話し合う。 ・先生達のことを知るためにインタビューに行く。 ・インタビューに行った先生のことをパソコンでまとめる。 ・わかったことや気付いたことを伝え合おう。	知② 思③	・行動観察・発言分析 ・ワークシートの分析
4なかよしみつかるつうがくろ (6) 本時(15/16)	・通学路の様子を話し合う。 ・通学路を歩いてみる。 ・通学路で見つけたものを記録する。(安全の工夫) ・通学路で見つけたものを出し合い、気付きを共有する。	知③ 思④	・行動観察・発言分析 ・動画やワークシートの分析
5なかよし たくさん 見つけたよ(1)	・これまでの活動を振り返り、したことやもっとやってみみたいことなどを伝え合う。	思⑤ 態③	・行動観察・発言分析 ・ワークシートの分析

5 本時の授業 (第15時)

(1) 本時の目標

- 自分たちの通学路について伝え合い、安全に登下校できるためにいろいろなものや人が関わっていることに気付くことができる。

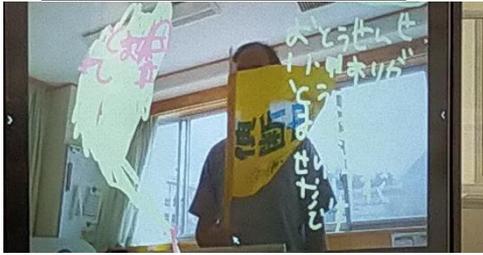
(2) 本時の評価規準

- ・通学路で見つけたものを伝え合い、安全に登校することができるためにはいろいろな「もの」や「ひと」が関わっていることに気が付くことができる。【知識・技能③】

(3) 本時の実際

過程	主な学習活動と児童の反応	評価と配慮事項
つかむ	<p>1 課題把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ○前時の学習を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> ・通学路でたくさんみつけたよ。 ・友達に伝えたいことをパソコンに書いたよ。 <p>めあて：あんぜんにとうこうできるために どんなものがあるかな？</p>  <p>通学路で見つけたものをみてみましょう。</p> <p>前時までに、児童は調べたことをパソコンで写真や絵、動画などそれぞれの方法でまとめた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前にバイシンクラスルームに入るようにしておく。
広げる	<p>2 課題解決(伝え合い・気づきの共有)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○通学路で見つけた安全に登校できるものを発表する。  <ul style="list-style-type: none"> ○友達が見つけたものを分類する。 <ul style="list-style-type: none"> ・バスの運転手さんや校長先生・教頭先生は「人」 ・横断歩道、信号機、看板は「もの」 ・集団下校、登校班「していること」  <p>気づきの質を高めることができるよう、自分が気付いたものだけでなく友達が見つけたものにも気付くことができるように関連付けて分類できるようにした。また、分類したことを比較しやすいように思考ツールを活用した板書を行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全員が見つけたものを共有することができるよう大型テレビに映し出す。 <p>この他にも、インタビューした学校の先生や地域の人、バスの運転手さんの写真も写し出した。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ○分類したことについてくわしく確認をする。 <p>「もの」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路は車があまり通らない道や横断歩道を通るようになっている。 <p>「ひと」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝、車の通りが多い所では横断歩道に先生が立っている。 <p>「こと」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区での話し合いや集団下校はみんなで安全に気を付けて登校できるようにしていることだよ。  <p>児童が分類したグループごとに見出しをつけた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューをした児童は動画を用いて紹介できるようにしておく。

児童のインタビュー動画の一部



インタビューしてまとめた児童は動画を用いて紹介する。

学校の先生、地域の方、バスの運転手さんにインタビューした児童は動画を用いて紹介した。聞き取れない所や分からない所は何度も聞き直すことで学習内容を深めることができた。

3 振り返り

○安全に登校できるために周りの人がどんな思いをもっているのか確認する。

知・技③
(行動観察・発言分析)

○本時で学習したことを児童の言葉でまとめる。

ふりかえる

まとめ

つうがくろには、みんなが あんぜんに がっこうにくることができるように たくさんのものや ひとが かかわっている



めあてと見出しを使って、本時の学習のまとめを考えることができたようにした。

○今日の学習でどんな学習をしたのか感想を書く。

今日の学習でわかったことを書こう。



本時で何を学習したのかを書く児童と自分がこれからどのように登校したらいいのかを書く児童がいた。自分の生活を振り返って考える児童の姿を見取ることができた。

6 実践を振り返って

本単元では、課題に対しての調べ方やまとめ方、そして友達に伝える様々な手段を指導した。児童がその中からどのような方法で調べたりまとめたりしたいか取捨選択できるようにした。また、「協働的な学び」の視点として、児童が課題に対して自分の意見を交流し合い、友達との異なる考えを共有し合うことで学習を深めていくことができるように指導をした。ICT(バイシンククラスルーム)を活用し、まとめたものを大型のテレビで見合うことで個々の児童の気づきを全体で共有することができた。児童が個々に気付いたことを比較、分類することから気づきの質を高めていくことができると実感した。また、インタビューしたものをビデオで撮影し全体に流すことから本人の言葉を直接聞くことができることや、聞き逃したところを何度も聞くことで、学習内容をさらに深めることができると感じる。授業後の感想では、普段あまり授業に参加することが難しい児童が「面白い。この授業楽しい。」と感想を述べたり、「これからも安全に気を付けて登校したい。」「色々な人が僕たちを守ってくれている。」と感想を書いたり、学習前と学習後に児童の変容が見られた。